

ウォーターカーテンを利用した「ゆめみどり」の連続収穫技術の実証

要約

ウォーターカーテン保温技術と「ゆめみどり」を組み合わせ、早期捨て刈り連続収穫栽培を行うことで、品質を低下させずに8回もの収穫回数を重ねることができ、16t/10aと高い収量が得られた。

○ 展示のねらい

ウォーターカーテン保温と、品質の低下が少ない「ゆめみどり」を組み合わせ、早期捨て刈り連続収穫栽培での単収向上効果を実証する。

○ 主な成果

- 早期捨て刈り区では8回収穫を行い、収穫量の合計は16.17t/10aだった。年明け捨て刈り区では6回収穫を行い、収穫量の合計は15.86t/10aだった(図1)。
- 重量ベースのAL品率は、早期捨て刈り区の5回目まで、年明け捨て刈り区の3回目まで90%以上を維持できた(図2)。

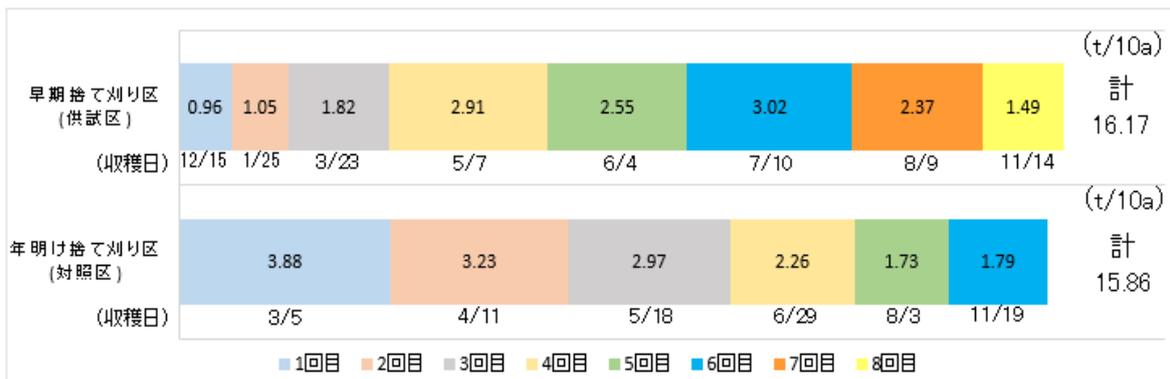


図1 収穫回数ごとの収量 (t/10a)

※捨て刈り日：早期捨て刈り区 11/7、年明け捨て刈り区 1/29

※抽苔期は収穫を休んだため、早期捨て刈り区は10/10、年明け捨て刈り区は10/14に捨て刈りを行った。

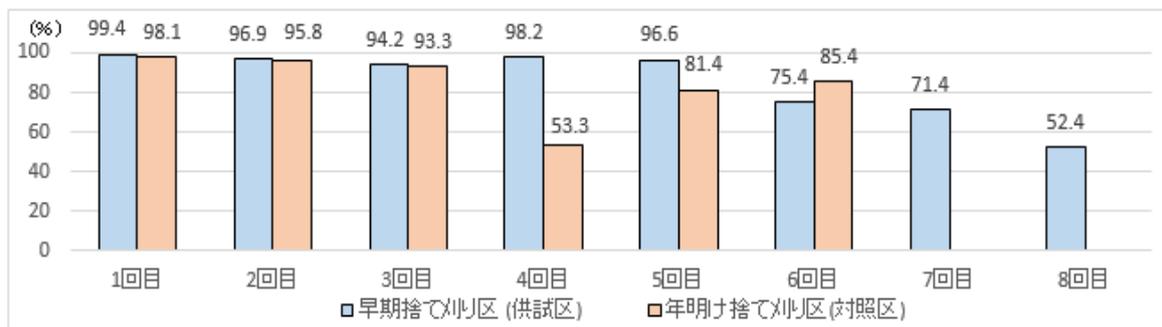


図2 収穫回数ごとのAL品率(重量ベース) (%)

○ 今後の方向性

早期捨て刈り連続収穫栽培マニュアルを作成した。温度(換気)管理など、従来の栽培管理から考え方を大きく変えていかなければならない点が多いが、ウォーターカーテン導入者を中心に、早期捨て刈り連続収穫栽培の推進を行う。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：上三川町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315